

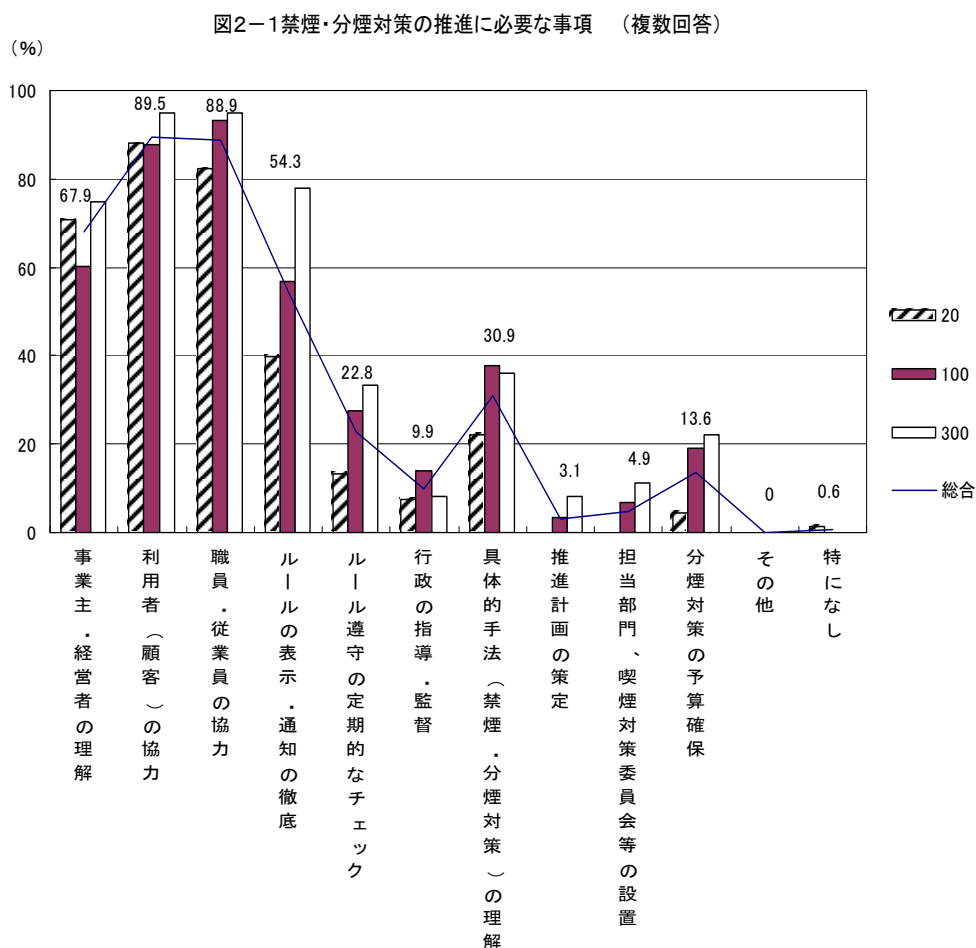
2 医療機関(病院)の結果概要

(1) 禁煙・分煙対策の推進に必要な事項 ※問2

病院が禁煙・分煙対策を進める上で必要であると考えられるものを尋ねたところ(有効回答数: 626)、「利用者(顧客)の協力」が145件 89.5%と最も多く、次に「職員・従業員の協力」が144件 88.9%となっている。

また、「事業主・経営者の理解」が110件 67.9%、「ルールの表示・通知の徹底」が88件 54.3%の順となっている。

なお、病院の許可病床別(300床以上、100~299床、20~99床)では、「利用者(顧客)の協力」は300床以上が34件、100~299床51件、20~99床は60件となって1位、2位を占めており、また「職員・従業員の協力」も300床以上34件、100~299床54件、20~99床56件と1位、2位を占めており、全体的な状況とほぼ同様になっている。

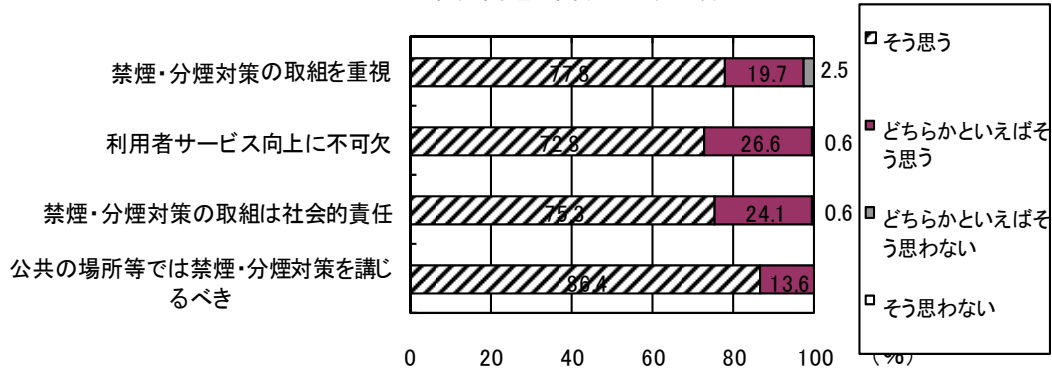


(2) 喫煙問題に関する取組意識 ※問3

病院として取り組んでいる喫煙問題に関する意識を「禁煙・分煙対策の取組を重視しているか」、「禁煙・分煙対策の取組は利用者サービス向上に不可欠であるか」、「禁煙・分煙対策の取組は社会的責任であるか」、「公共の場所等(多数の方々を利用する施設等)では禁煙・分煙対策を講じるべき」の4つの項目について尋ねた。

全体的に、いずれも「そう思う」が72.8%～86.4%、「どちらかといえばそう思う」が13.6%～26.6%となっており、4つの項目とも両方では約10割となっている。

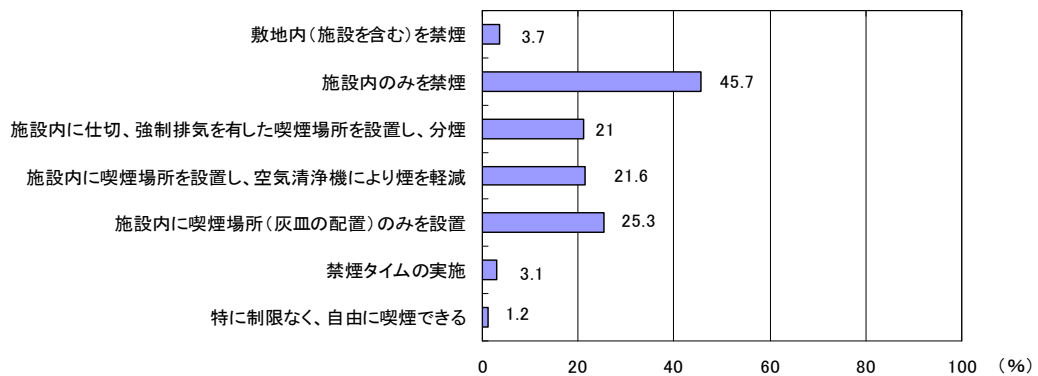
図2-2 喫煙問題に関する取組意識



(3) 主な禁煙・分煙対策の実施状況 ※問4

現在、病院が取り組んでいる主な禁煙・分煙対策について尋ねたところ(有効回答数:197)、「施設内のみ禁煙としている」が74件 45.7%と最も多く、「敷地内(施設を含む)を禁煙としている」が6件 3.7%、「施設内に仕切、強制排気を有した喫煙場所を設置し分煙している」が34件 21.0%の計114件となっており、有効回答数の約6割が受動喫煙防止対策を実施している。

図2-3 主な禁煙・分煙対策の実施状況 (複数回答)

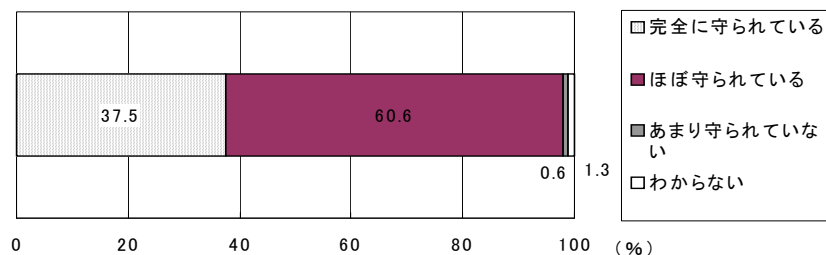


(4) 禁煙・分煙の遵守状況 ※問5-(1)~(4)

喫煙制限を実施している160施設に対して、次の4項目について尋ねた。

① 喫煙制限は遵守されているか尋ねたところ、「完全に守られている」60件 37.5%、「ほぼ守られている」の97件 60.6%の両方で計157件の98.1%となっている。

図2-4-1 禁煙・分煙の遵守状況



② 禁煙・喫煙場所の明示について尋ねたところ、「明示している」123件 76.9%、「明示していない」が37件 23.1%となっている

明示方法（有効回答数：160）については、「喫煙場所を明示」が95件 77.2%、「禁煙場所を明示」が59件 47.9%、「その他、両方を明示」が6件 4.9%となっている。

図2-4-2-1 禁煙場所・喫煙場所等の明示の有無

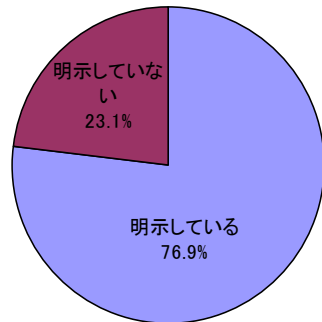
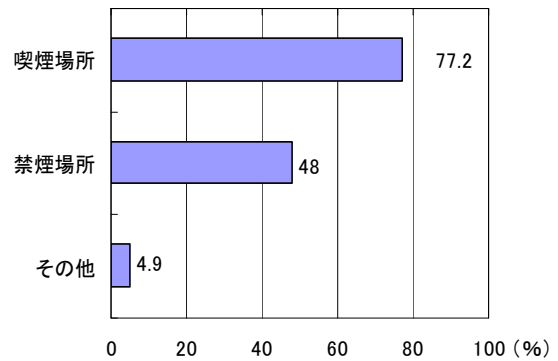
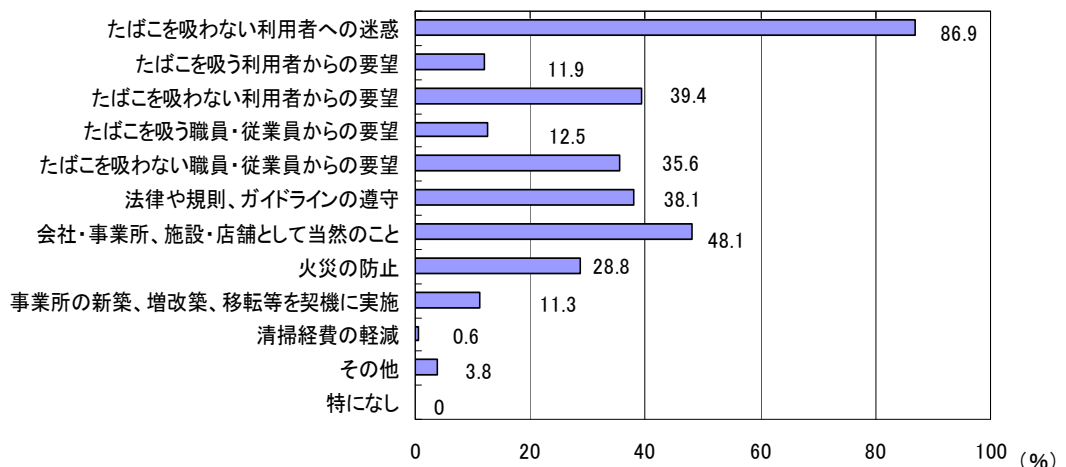


図2-4-2-2 明示方法（複数回答）



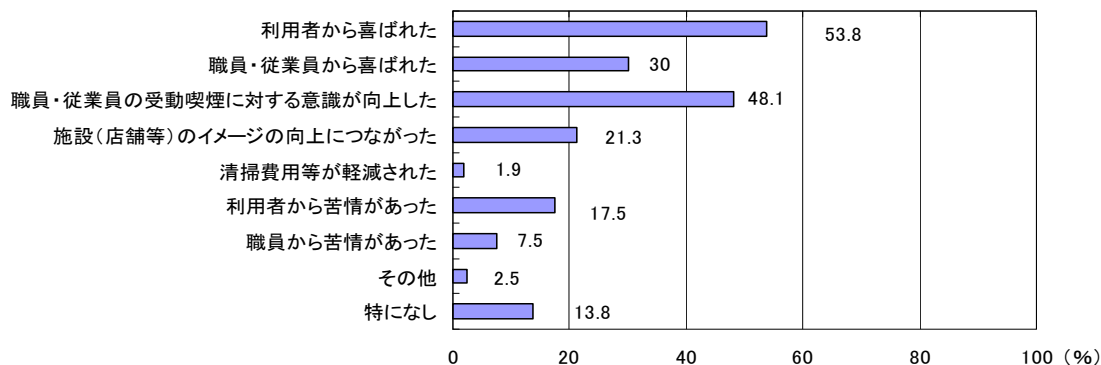
③ 禁煙・分煙対策を実施している施設に理由を尋ねたところ（有効回答数：507）、「たばこを吸わない利用者への迷惑」が139件 86.9%と最も多く、以下「病院として当然のこと」が77件 48.1%、「たばこを吸わない利用者からの要望」が63件 39.4%、「法律や規則、ガイドラインの遵守」が61件 38.1%、「たばこを吸わない職員・従業員からの要望」57件 35.6%、「火災の予防」46件 28.8%、「たばこを吸う職員・従業員からの要望」20件 12.5%、「たばこを吸う利用者からの要望」19件 11.9%などの順となっている。

図2-4-3 禁煙・分煙実施の理由（複数回答）



④ 禁煙・分煙を実施した結果としての評価（メリット・デメリット）を尋ねたところ（有効回答数：314）、「利用者（顧客）から喜ばれた」が86件 53.8%と最も多く、次に「職員・従業員の受動喫煙に対する意識が向上した」が77件 48.1%、「職員・従業員から喜ばれた」48件 30.0%の順になっている。

図2-4-4 禁煙・分煙実施の効果 (複数回答)

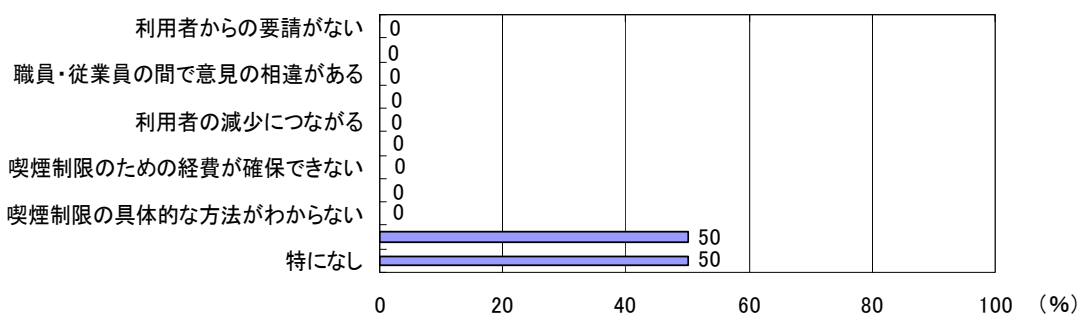


(5) 禁煙・分煙未実施の理由 ※問6-(1)~(3)

喫煙制限を実施していない2施設に対して、次の3項目について尋ねた。

- ① 喫煙制限を実施していない理由を尋ねたところ、「その他(職員アンケート実施、検討中)」と「特に理由なし」が各1件となっている。

図2-5-1 禁煙・分煙未実施の理由



- ② 今後の方針を尋ねたところ、「禁煙・分煙対策を行う予定」と「わからない」が各1件となっている。

図2-5-2 禁煙・分煙の予定

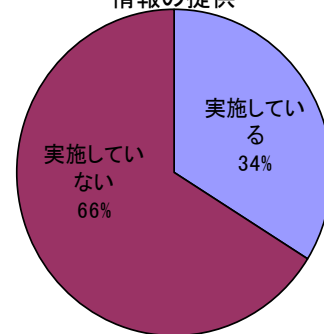


- ③ 今後の禁煙・分煙対策を実施する時期については、いずれも未定であった。

(6) たばこの健康影響に関する情報の提供 ※問7

① たばこの健康影響に関する情報を職員・従業員へ提供しているか尋ねたところ、「実施している」が55件 34.0%、「実施していない」が107件 66.0%となっている。

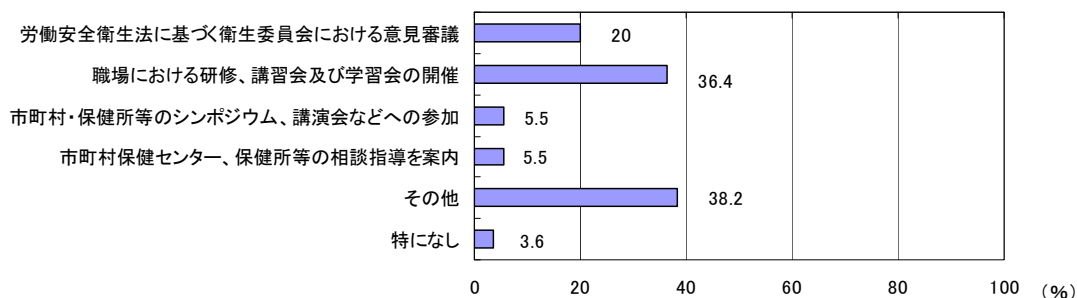
図2-6 たばこの健康影響に関する情報の提供



(7) たばこの健康影響に関する情報提供等の取組 ※問8

職員・従業員を対象に、たばこの健康影響に関する情報提供を実施している施設に尋ねたところ（有効回答数：60）、「その他の取組（健保組合主催の講演会、喫煙場所に情報パンフ掲示、病院主催の講演会、情報パンフ供覧など）」が各21件 38.2%と最も多く、次に「職場研修、講習会及び学習会の開催」が20件 36.4%の順となっている。

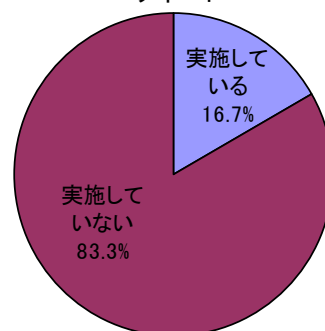
図2-7 たばこの健康影響に関する情報提供等の取組（複数回答）



(8) 禁煙希望の職員等へのサポート ※問9

禁煙希望の職員・従業員へのサポートを実施しているかと尋ねたところ、「実施している」が27件 16.7%、「実施していない」が135件 83.3%となっている。

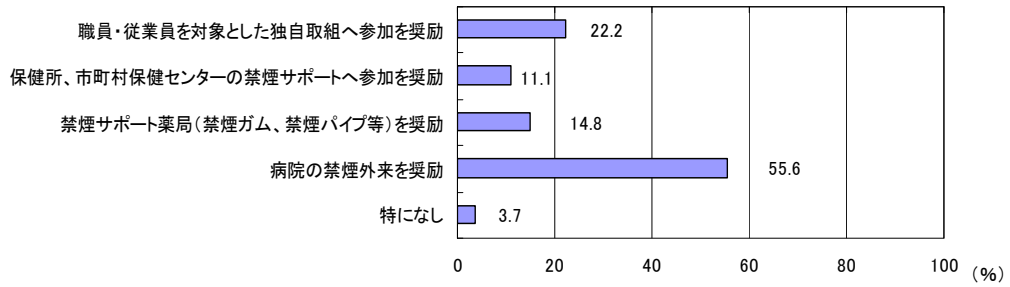
図2-8 禁煙希望の職員等へのサポート



(9) 禁煙サポートの内容 ※問10

禁煙サポートを実施している27施設に内容を尋ねたところ（有効回答数：29）、「病院の禁煙外来を奨める」が15件 55.6%と最も多く、次に「独自の取組（健保組合主催の禁煙教室、疾病予防事業への参加、禁煙講演会の開催、6か月以上禁煙者への記念品贈呈、禁煙ガムを奨める）」が6件 22.2%の順となっている。

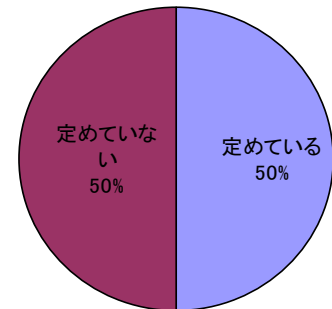
図2-9 禁煙サポートの取組について (複数回答)



(10) 喫煙マナーに関するルール ※問11

喫煙マナールールを定めているか尋ねたところ、「定めている」が81件、「定めていない」が81件と半々になっている。

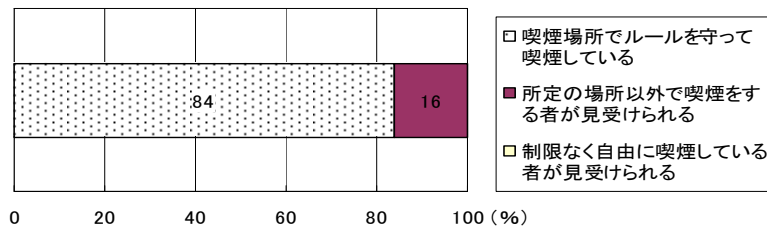
図2-10 喫煙マナーに関するルール



(11) 定めたルールの遵守状況 ※問12

喫煙ルールを定めている81施設の遵守状況を尋ねたところ、「喫煙場所でルールを守って喫煙している」が68件 84.0%と多いが、「所定の場所以外で喫煙する者が見受けられる」も13件 16.0%ある。

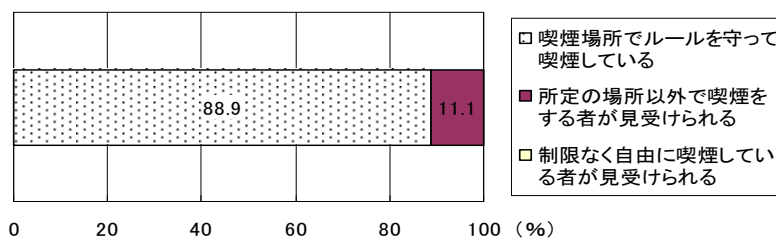
図2-11 定めたルールの遵守状況



(12) ルールを定めていない施設の喫煙状況 ※問13

ルールを定めていない81施設について喫煙マナー等を尋ねたところ、「喫煙所でルールを守って喫煙している」は72件 88.9%となっているが、「所定の場所以外で喫煙する者が見受けられる」も9件 11.1%ある。

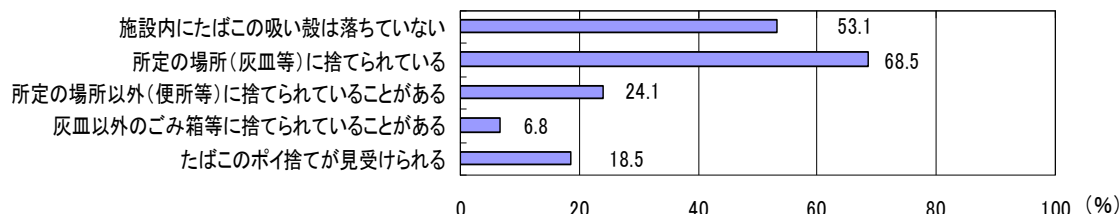
図2-12 ルールを定めていない施設の喫煙状況



(13) たばこの吸い殻の状況 ※問14

たばこの吸い殻の状況を尋ねたところ(有効回答数:277)、「所定の場所(灰皿等)に捨てられている」が111件 68.5%と最も多く、次に「施設内にたばこの吸い殻は落ちていない」も86件 53.1%、「所定の場所以外の場所(便所等)に捨てられている」が39件 24.1%の順となっている。

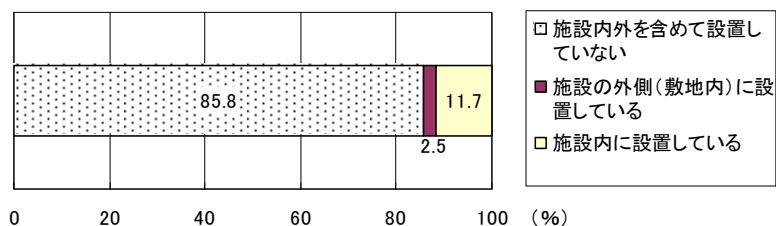
図2-13 たばこの吸い殻の状況 (複数回答)



(14) たばこの自動販売機の設置状況 ※問15

たばこの自動販売機の設置状況を尋ねたところ、「施設内外を含めて設置していない」が139件 85.8%と最も多く、次に「施設内に設置している」の19件 11.7%、「施設外側(敷地内)に設置している」4件 2.5%となっている。

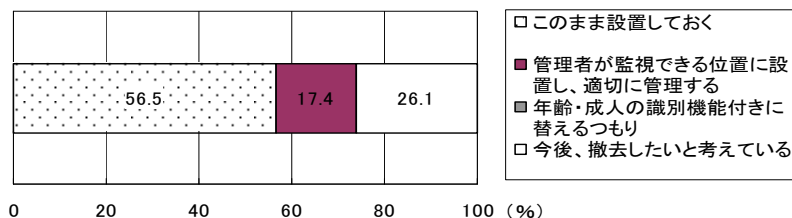
図2-14 たばこの自動販売機の設置状況



(15) たばこの自動販売機の設置管理予定 ※問16

たばこの自動販売機を設置している23施設に対し、未成年者がたばこを購入する心配があるが今後の管理をどうするか尋ねたところ、「このまま放置しておく」が13件 56.5%と最も多く、次に「今後、撤去したいと考えている」6件 26.1%と、「施設管理者等が監視できる位置に設置し適切に管理する」4件 17.4%の順となっている。

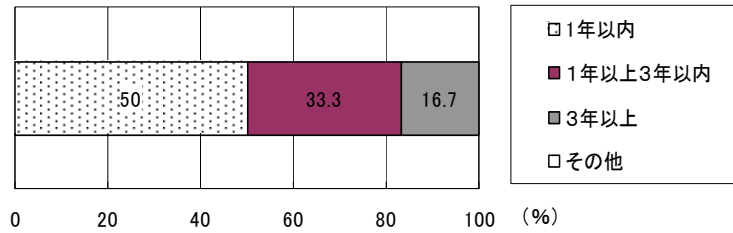
図2-15 たばこの設置管理予定



(16) たばこの自動販売機の撤去予定 ※問17

たばこの自動販売機を撤去したいと考えている6施設に時期を尋ねたところ、「1年以内」が3件 50.0%、「1年以上3年以内」が2件 33.3%、「3年以上」1件 16.7%となっている。

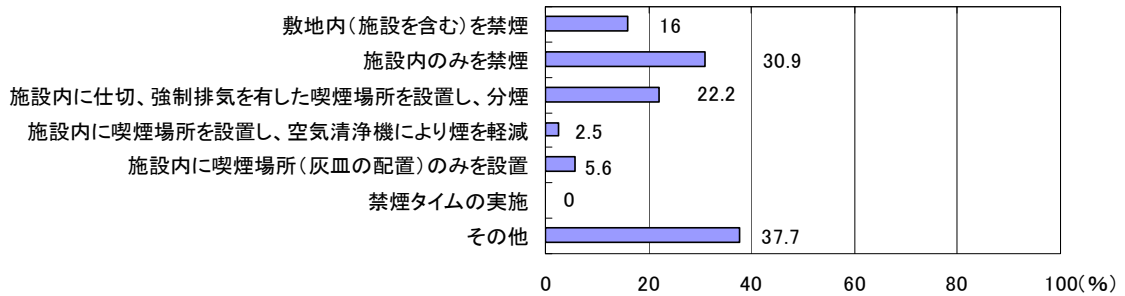
図2-16 たばこの自動販売機の撤去予定



(17) 喫煙対策に対する施設利用者からの声 ※問18

施設利用者からの声として多い喫煙対策を尋ねたところ(有効回答数:186)、「その他(特に声を聞かない)」が61件 37.7%と一番多く、次に「施設内のみを禁煙として欲しい」が50件 30.9%、「施設内を仕切、強制排気した喫煙場所(たばこ煙が他に流出しない)を設置し、受動喫煙防止をして欲しい」が36件 22.2%の順となっている。

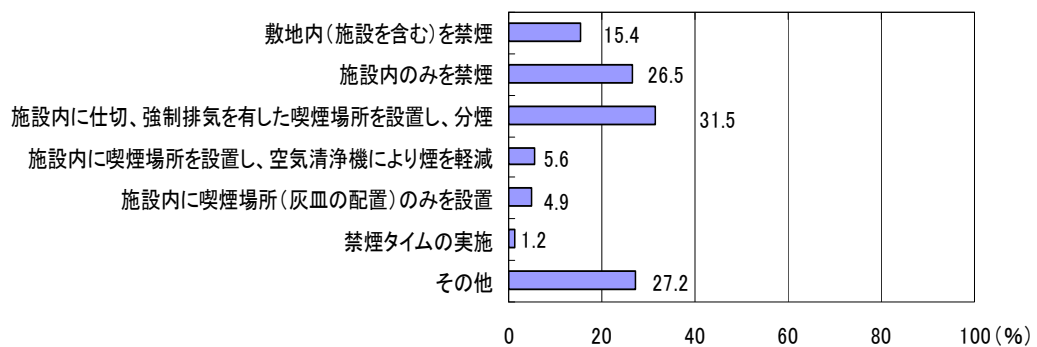
図2-17 喫煙対策に対する施設利用者からの声 (複数回答)



(18) 喫煙対策に対する職員・従業員からの声 ※問19

職員・従業員からの声として多い喫煙対策を尋ねたところ(有効回答数:182)、「施設内を仕切、強制排気を有した喫煙場所(たばこ煙が他に流出しない)を設置し、受動喫煙防止をして欲しい」が51件 31.5%と一番多く、次に「その他(特に声はない)」が44件 27.2%、「施設内のみを禁煙として欲しい」が43件 26.5%の順となっている。

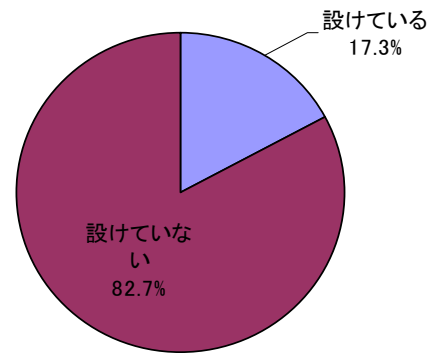
図2-18 喫煙対策に対する職員・従業員からの声 (複数回答)



(19) 両親学級の設置 ※問20

病院内に両親学級や両親教育等の場を設けているかと尋ねたところ、回答のあった162施設のうち産科、婦人科、産婦人科を標榜している病院は52施設 32.1%で、そのうちで両親学級や両親教育等の場を設けているところは9病院 17.3%となっている。

図2-19 両親学級の設置



(20) 保護者への禁煙教育 ※問20-①

両親学級等を設けている9病院に保護者に対する禁煙教育を実施しているか尋ねたところ、「実施している」は7件 77.8%になっており、「現在は実施していないが、今後の予定は未定である」と「現在も実施していないし、今後実施する予定はない」が各々1件 11.1%となっている。

図2-20 禁煙教育の実施

